

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2011-101711(P2011-101711A)

【公開日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2009-257541(P2009-257541)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月2日(2012.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

< 第 1 実施形態 >

図 1 ( A ) は本発明の一実施形態に係るゴルフクラブヘッド 1 0 の正面図 ( フェース部 2 1 側から見た図 )、図 1 ( B ) はゴルフクラブヘッド 1 0 の分解図である。ゴルフクラブヘッド 1 0 は中空体をなしており、その周壁が、フェース面 ( 打撃面 ) を形成するフェース部 2 1 と、ゴルフクラブヘッド 1 0 の上部を形成するクラウン部 2 2 と、ゴルフクラブヘッド 1 0 の底部を形成するソール部 2 3 と、ゴルフクラブヘッド 1 0 の側部を形成するサイド部 2 4 と、を構成している。また、ゴルフクラブヘッド 1 0 はシャフトが取付けられる円筒状のホゼル部 2 5 を備える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

ゴルフクラブヘッド # 1 ~ # 5 は、いずれも同一形状で同一容積のドライバ用の中空ヘッドであって、その材料のヤング率 ( 縦弾性係数 ) を 1 2 5 G P に設定した。このようなヤング率を有する材料としては例えばチタン合金を挙げられる。各部の肉厚は、フェース部で 3 . 0 m m、クラウン部で 0 . 7 m m、ソール部で 0 . 8 m m、サイド部で 0 . 7 m mとした。